

第3次熊本市環境総合計画中間見直しの概要

1 中間見直しにあたって

平成27年度第1回環境審議会において、本計画の中間見直しを行うにあたり意見を求めた。それに基づき、策定以降に起こった社会情勢の変化や、毎年度行っている庁内の進捗管理、あるいは市民アンケートの結果等を踏まえ、第3章「基本計画」に記載されている施策や成果指標・参考指標などを中心に見直しを行うこととした。

2 中間見直しを行う主な項目

(1) 関係法令・計画の制定等に伴う整合 (新規制定)

- 第7次熊本市総合計画、熊本市人口ビジョン 策定
- 熊本市生物多様性地域戦略(仮称)策定 ※平成28年度策定予定

(改訂・改正)

- 熊本市低炭素都市づくり戦略計画 改訂
- 第2次熊本市地下水保全プラン、第3次熊本市硝酸性窒素削減計画 改訂
- 環境教育等促進法 改正

(2) 社会情勢の変化や新たな環境問題への対応

- 火力発電量増大に伴うCO₂排出量増加、再生可能エネルギーへの転換
- 地下水質汚染問題(硝酸化窒素対策)
- 大気汚染問題(PM2.5等)
- 水銀フリー社会に向けた取り組み
- 水素社会実現に向けた取り組み

(3) 成果指標、参考指標の修正等

関連計画の改訂等により、目標値の値が変化したものや、現状に即さないものなどを中心に見直しを行いました。

3 中間見直しの主な内容

第3章 基本計画

環境目標1「豊かな水と緑をまもり生きものを育む都市をつくる」

中目標1「恵み豊かなくまもとの地下水をまもる」

小目標2「清らかな地下水をまもる」 (P54~)

- 第2次熊本市地下水保全プラン、第3次熊本市硝酸化窒素削減計画 改訂
- 地下水質汚染問題(硝酸性窒素対策)

個別計画である「熊本市硝酸性窒素削減計画」が平成26年度に見直されており、この内容に併せて文言修正を行うとともに、「家畜排せつ物処理施設の整備」や「くまもとグリーン農業の拡大」など新たな事象を追加した。

環境目標1「豊かな水と緑をまもり生きものを育む都市をつくる」

中目標3「人と生きものつながりについて学び、まもる」

(P60~)

- 熊本市生物多様性地域戦略(仮称)策定

平成28年度に策定予定である生物多様性地域戦略を施策の体系図に組み込むことで、戦略の位置づけを明確にした。

環境目標3「環境負荷を抑えた循環型社会をつくる」

中目標1「ごみを減らし、資源循環のまちをつくる」

小目標2「適正なごみ処理を実施する」

(P80~)

- 水銀フリー社会に向けた取り組み

前回の審議会でも意見として挙げたが、県と協力して実施する水銀フリー社会の実現に向けた取り組み内容を追記した。(特定品目の収集開始など)

環境目標4「地球温暖化を防ぐため低炭素社会をつくる」

中目標1「地域から地球温暖化の防止に貢献する」

(P82~)

- 熊本市低炭素都市づくり戦略計画 改訂

- 火力発電量増大に伴うCO₂排出量増加、再生可能エネルギーへの転換

個別計画である「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」の平成26年度改訂に伴い、成果指標・参考指標等の見直しや、再生可能エネルギーに関する項目(HEMS・蓄電池など住宅のスマート化、創エネルギー化・省エネルギー化など)を追加した。

- 水素社会実現に向けた取り組み

新たなCO₂削減手段として期待される水素社会の実現に向けた取り組みとして、水素ステーションや燃料電池自動車(FCV)等の普及促進などを追加した。

環境目標5「市民が快適に過ごせる生活空間をつくる」

中目標1「心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしをまもる」

小目標1「さわやかな大気をまもる」

(P94~)

- 大気汚染問題(PM2.5等)

PM2.5を代表とする新たな大気汚染問題については、市民も関心が高く、今回の見直しでは参考指標等の見直しを行った。(PM2.5の年平均値による指標追加)

重点協働プロジェクト ひとつづくり(環境教育)・まちづくり(協働) (P102~)

- 環境教育等促進法 改正

平成24年の法改正により、環境教育のさらなる普及・推進が求められている。

本計画では、重点協働プロジェクトの1つに「環境教育」を掲げ、法改正前から力を入れているが、今回の法改正で定めのある「環境教育等行動計画」として本計画のプロジェクトを位置づけ、体験の機会の場の認定制度など新たな施策を展開していくことを盛り込んだ。

第1章 計画の基本的な考え方 第2章 計画の基本理念

(計画体系図、計画の目指す都市像、本市の概況(人口)など)

- 第7次熊本市総合計画、熊本市人口ビジョン 策定

現在策定中であり、素案を基に修正を行う予定。

※成果指標、参考指標の見直しについては、別紙1を参照

成果指標 参考指標	基準値 (平成21年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	当初 目標年度	当初 目標値	目標値の達成見込み について	見直し経緯	新たな 基準年度	新たな 基準値	新たな 目標年度	新たな 目標値	目標値 根拠	担当課
環境目標1 豊かな水と緑をまもり生き物を育む都市をつくる 中目標1-1 恵み豊かなくまもとの地下水をまもる 小目標1-1-1 豊かな地下水をまもる																
地下水人工かん養量	1,583万㎡	1,557万㎡	1,810万㎡	1,384万㎡	1,622万㎡	1,466万㎡	平成25年度	3,000万㎡	未達成(確定)	白川中流域における湛水事業において、活用可能な転作田が限界にあり、今後、新たなかん養事業を検討し、第2次地下水保全プランにおいても、目標を継続。	変更なし	平成30年度	3,000万㎡ (変更なし)	第2次熊本市地下水保全プラン	水保全課	
地下水採取量	10,745万㎡ (平成20年度)	11,607万㎡	11,367万㎡	11,240万㎡	11,221万㎡		平成25年度	10,468万㎡	達成に向けて順調に推移(旧市内における採取量では前年度比△1.0%程度で推移)	政令市移行に伴う3町合併により、目標値を調整し設定。	変更なし	平成30年度	11,117万㎡	第2次熊本市地下水保全プラン	水保全課	
市民1人1日あたりの生活用水使用量	237ℓ/人・日	235.0ℓ/人・日	230.8ℓ/人・日	228.9ℓ/人・日	227.5ℓ/人・日	224.0ℓ/人・日	平成25年度	230ℓ/人・日	達成(確定)	目標を達成したことにより、目標値の見直し。	変更なし	平成30年度	218.0ℓ/人・日	第2次熊本市地下水保全プラン	水保全課	
環境目標1 豊かな水と緑をまもり生き物を育む都市をつくる 中目標1-1 恵み豊かなくまもとの地下水をまもる 小目標1-1-2 清らかな地下水をまもる																
硝酸性窒素濃度 (+10mg/ℓを超過した井戸の割合) 地下水の硝酸性窒素濃度の 環境基準超過井戸の割合	17.2% (122本中21本)	18.3%	15.0%	18.1%	16.0%	16.7% (102本中17本)	平成25年度	5%以下	未達成(確定)	地下水は、一旦汚染されてしまうと、その改善までに長期間を要することから、第2次地下水保全プランにおいても、目標を継続。 また、成果指標名をわかりやすくするため、変更を行った。	変更なし	平成30年度	5%以下 (変更なし)	第2次熊本市地下水保全プラン	水保全課	
環境目標3 環境負荷を抑えた循環型社会をつくる 中目標3-1 ごみを減らし、資源循環のまちをつくる 小目標3-1-2 適正なごみ処理を実施する																
年間のごみ埋立処分量	6,818t/年	6,321t/年	6,172t/年	5,681t/年	5,613t/年	5,599t/年	平成32年度	4,432t/年	平成27年度末見直し	平成27年度末に「熊本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」を改訂予定。	変更なし	平成32年度	4,891t/年	熊本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画	廃棄物計画課	
環境目標4 地球温暖化を防ぐため低炭素社会をつくる 中目標 4-1 地域から地球温暖化の防止に貢献する																
温室効果ガス削減率※1 (平成19年度比)	△5.0% (平成20年度)	△5.9%	11.1%	18.0%			平成32年度	△24.0%※2	平成26年度末見直し	平成26年度末に「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を改訂。	変更なし	平成32年度	△6.2%	熊本市低炭素都市づくり戦略計画改訂版	環境政策課 温暖化対策室	
環境目標4 地球温暖化を防ぐため低炭素社会をつくる 中目標 4-1 地域から地球温暖化の防止に貢献する 小目標4-1-3 低炭素型ライフスタイルを実践する																
マイバッグ持参率 (無料配布中止店舗平均) →市民一世帯あたりのCO2排出量	82.3% (平成22年3月)	82.3%	81.5%	81.8%	81.5%		平成32年度	90.0%	当初実績値よりほぼ横ばいであり、目標値の達成に向けた更なる取り組みが必要である。	小目標が「低炭素型ライフスタイルを実践する」であることから、より市民のライフスタイル全般に関わりのある「市民一世帯あたりのCO2削減量」を指標とする。	平成24年度	3,607kg-CO2/年	平成32年度	2,605kg-CO2/年 (△1,002kg-CO2/年)	熊本市低炭素都市づくり戦略計画改訂版	環境政策課 温暖化対策室
環境目標5 市民が快適に過ごせる生活空間をつくる 中目標5-1 心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしを守る																
大気環境基準達成率※3 →事業場公害苦情発生件数(大気、騒音、振動、悪臭) →水質汚濁事故発生件数及び排水基準違反件数	80.8%	65.4%	53.8%	80.8%	80.8%	80.8%	平成32年度	現状維持	現在のところ現状維持を達成できている。	より市民生活に近い指標とするため、事業場公害発生件数(環境政策課)と、水質汚濁事故発生件数及び排水基準違反件数(水保全課)を新たな指標とする。	平成24~26年度平均値	事業場公害 130件	平成32年度	減少	-	環境政策課 水保全課
環境目標5 市民が快適に過ごせる生活空間をつくる 中目標5-1 心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしを守る 小目標5-1-1 さわやかな大気をまもる																
浮遊粒子状物質の大気環境基準達成率 →微小粒子状物質(PM2.5)年平均値	100.0%	42.9%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	平成32年度	100.0%	現在のところ目標値を達成している。	浮遊粒子状物質の環境基準は、黄砂等の外的要因による一時的な濃度上昇で達成できなくなる。近年、市民の関心も高い微小粒子状物質(PM2.5)の推移を把握するため年平均値(全測定局分)の指標に変更する。	平成24年度	20.6μg/m ³	平成32年度	減少	-	環境政策課

成果指標・参考指標一覧

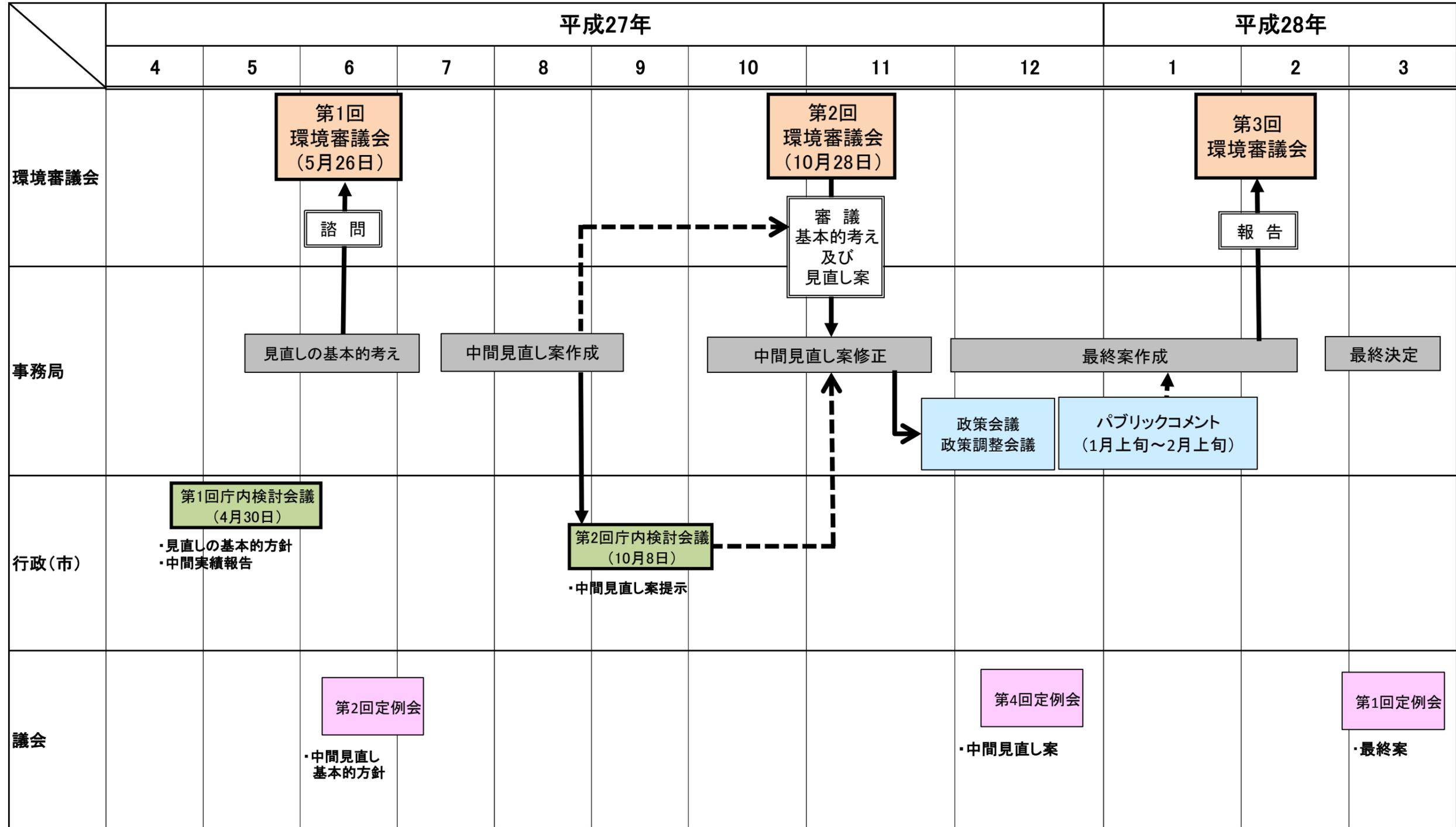
環境目標	中目標	小目標	成果指標 参考指標	基準値 (平成21年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
計画全体の成果指標			良好な環境が守られていると感じる市民の割合(6総アンケートより)	66.1%	64.5%	69.6%	72.7%	74.1%	72.7%
1 豊かな水と緑をまもり生き物を育む都市をつくる	1-1 恵み豊かなくまもとの地下水をまもる		地下水が市民共有の財産として守られていると感じる市民の割合(6総アンケートより)	51.9%	49.0%	51.1%	54.6%	58.7%	57.1%
		1-1-1 豊かな地下水をまもる	地下水人工かん養量	1,583万㎡	1,557万㎡	1,810万㎡	1,384万㎡	1,622万㎡	1,466万㎡
			地下水採取量	10,745万㎡(平成20年度)	11,607万㎡	11,367万㎡	11,240万㎡	11,221万㎡	
	1-1-2 清らかな地下水をまもる	市民1人1日あたりの生活用水使用量	237ℓ/人・日	235ℓ/人・日	230.8ℓ/人・日	228.9ℓ/人・日	227.5ℓ/人・日	224.0ℓ/人・日	
		硝酸性窒素濃度(10mg/lを超過した井戸の割合) →地下水の硝酸性窒素濃度の環境基準超過井戸の割合	17.2%(122本中21本)	18.3%	15.0%	18.1%	16.0%	16.7%(102本中17本)	
	1-2 自然豊かな「森の都」をまもり、育てる	街なかに緑が多いと感じる市民の割合(6総アンケートより)	69.9%	66.5%	68.4%	73.0%	73.7%	69.6%	
1-3 人と生きもののがつがりについて学び、まもる	生物多様性について知っている市民の割合(平成23年度)	17.5%			19.1%	20.2%	13.8%		
2 くまもとの風土を活かした都市をつくる	2-1 歴史文化をまもり、育てる		過去1年間に歴史的文化遺産に触れた市民の割合(6総アンケートより)	49.8%	45.6%	46.5%	43.7%	45.1%	39.4%
		2-1-1 歴史的文化遺産等を保護し、継承する	熊本城復元整備基金への募金額(累計)	3億8千万円	4億5千万円	4億8千900万円	5億3千40万円	5億5千600万円	5億8千100万円
			指定文化財件数	234件	240件	248件	253件	254件	260件
	2-1-2 環境資源等を活かした産業を育てる	熊本城入園者数	171万人	144万人	158万人	158万人	165万人	163万人	
	2-2 魅力ある都市空間をつくる	街並みが美しいと感じる市民の割合(6総アンケートより)	47.3%	45.6%	47.4%	50.9%	50.0%	47.0%	
	良好な居住環境が保たれていると感じる市民の割合(6総アンケートより)	57.5%	56.5%	58.8%	59.2%	57.0%	57.3%		
3 環境負荷を抑えた循環型社会をつくる	3-1 ごみを減らし、資源循環のまちをつくる		市民1人1日当たりのごみ排出量(集団回収除く)	1,037g	970g	976g	955g	947g	924g
		家庭ごみのリサイクル率	16.5%	19.8%	21.3%	21.4%	22.3%	21.5%	
	3-1-2 適正なごみ処理を実施する	年間のごみ埋立処分量	6,818t/年	6,321t/年	6,172t/年	5,681t/年	5,613t/年	5,599t/年	
4 地球温暖化を防ぐため低炭素社会をつくる	4-1 地域から地球温暖化の防止に貢献する		温室効果ガス削減率※1(平成19年度比)	△5.0%(平成20年度)	△5.9%	11.1%	18.0%		
		4-1-2 環境にやさしい交通を推進する	公共交通機関利用者数	5,374万人	5,357万人	5,578万人	5,554万人	5,672万人	5,543万人
		4-1-3 低炭素型ライフスタイルを実践する	マイバッグ持参率(無料配布中止店舗平均)	82.3%(平成22年3月)	82.0%	81.5%	81.0%	81.5%	
	市民一世帯あたりCO2排出量(新規参考指標)	3,607kg-CO2/年(平成24年度)							
5 市民が快適に過ごせる生活空間をつくる	5-1 心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしを守る		大気環境基準達成率※2	80.0%	85.4%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
			事業場公害苦情発生件数(大気、騒音、振動、悪臭) 【新規成果指標】	130件(平成24~26年度平均値)			152件	123件	115件
			水質汚濁事故発生件数及び排水基準違反件数【新規成果指標】	52件(平成22~26年度平均値)	31件	63件	47件	55件	66件
	5-1-1 さわやかな大気をまもる		大気環境基準達成率※2	80.8%	65.4%	53.8%	80.8%	80.8%	80.8%
			二酸化窒素濃度(自動車排出ガス測定局)※3	0.035ppm	0.037ppm	0.020ppm	0.020ppm	0.019ppm	0.027ppm
			浮遊粒子状物質の大気環境基準達成率	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
			微小粒子状物質(PM2.5)年平均値(新規参考指標)	20.6μg/m³(平成24年度)				18.8μg/m³	18.6μg/m³
		5-1-2 騒音・振動のないまちをつくる	自動車騒音環境基準達成率	85.0%(暫定値)	86.3%	91.3%	95.5%	96.5%	97.2%
		5-1-4 有害化学物質による汚染を防ぐ	大気中のダイオキシン類濃度(一般環境)【pg-TEQ/m³】	0.034	0.031	0.047	0.022	0.050	0.017
	5-1-6 安全・安心な暮らしをまもるため調査研究し情報を発信する	測定計画検査数達成率	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

目標年度	目標値	指標の見直しについて	担当課	目標値の数値根拠計画等
平成32年度	75.0%	継続	環境政策課	第6次熊本市総合計画
平成32年度	70.0%	継続	水保全課	第6次熊本市総合計画
平成30年度	3000万㎡	目標年度の見直し	水保全課	第2次熊本市地下水保全プラン
平成30年度	10,468万㎡ 11,117万㎡	目標年度の見直し 目標値の見直し	水保全課	第2次熊本市地下水保全プラン
平成30年度	239ℓ/人・日 218ℓ/人・日	目標年度の見直し 目標値の見直し	水保全課	第2次熊本市地下水保全プラン
平成30年度	5%以下	成果指標名見直し 目標年度の見直し	水保全課	第2次熊本市地下水保全プラン
平成32年度	82.0%	継続	環境共生課	第6次熊本市総合計画
平成32年度	増加	継続	環境共生課	第3次熊本市環境総合計画 市民アンケート結果
平成32年度	62.0%	継続	文化振興課	第6次熊本市総合計画
	7億円	継続	熊本城総合事務所	第6次熊本市総合計画
平成30年度	300件	継続	文化振興課	第6次熊本市総合計画
平成30年度	200万人	継続	熊本城総合事務所	第6次熊本市総合計画
平成32年度	57.0%	継続	開発景観課	第6次熊本市総合計画
平成32年度	65.0%	継続	建築指導課	第6次熊本市総合計画
平成32年度	881g	継続	廃棄物計画課	熊本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
平成32年度	30.0%	継続	廃棄物計画課	熊本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
平成32年度	4,432t/年 4,891t/年	目標値の見直し	廃棄物計画課	熊本市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画
平成32年度	△24.0% △6.2%	目標値の見直し	温暖化対策室	熊本市低炭素都市づくり戦略計画改訂版
平成30年度	増加	継続	交通政策総室	第6次熊本市総合計画
平成32年度	80.0%			
平成32年度	2,605kg-CO2/年 (△1,002kg-CO2/年)	新たな指標の設定	温暖化対策室	熊本市低炭素都市づくり戦略計画改訂版
平成32年度	現状維持			
平成32年度	減少	新たな指標の設定	環境政策課	第6次熊本市総合計画
平成32年度	減少		水保全課	-
平成32年度	現状維持		環境政策課	第6次熊本市総合計画 成果指標から参考指標へ移動
平成32年度	現状維持	継続	環境政策課	-
平成32年度	100.0%			
平成32年度	減少	新たな指標の設定	環境政策課	-
平成32年度	現状維持	継続	環境政策課	-
平成32年度	現状維持	継続	環境政策課	-
平成32年度	100.0%	継続	環境総合センター	-

※1 温室効果ガスの排出量及び削減率の目標値は、新市域(合併3町を含む)における数値です。
 ※2 大気環境基準達成率は、常時監視測定局で測定された、環境基準が定められた項目(二酸化硫黄・一酸化炭素・浮遊粒子状物質・二酸化窒素・光化学オキシダント)の達成状況を表しており、当初実績値80.8%は、光化学オキシダントを除くすべての項目で基準を達成した数値です。
 なお、光化学オキシダントについては、全国的に見ても、大気環境基準を達成した測定局数の割合は0.1%前後で推移しており、基準の達成が非常に困難な状況です。
 ※3 二酸化窒素濃度(自動車排出ガス測定局)の当初実績値は、大気環境基準(0.06ppm)を達成しており、かつ、減少傾向にあります。

環境総合計画中間見直しスケジュール(平成27年度予定)

別紙2



見直し方法

(1)環境審議会

環境基本条例第10条に基づき設置された学識経験者、市民、市民団体、事業者等で構成される審議会。市長からの諮問に応じ、中間見直しについて審議し、答申を行う。

(2)庁内検討会議

庁内における見直し実施体制として、見直しに関する意見の調整や各局の取りまとめ等を目的として、関係局主管課等からなる庁内検討会議を設置し、また環境保全事業所管課において、取組の進捗状況の確認や数値目標・指標や施策の見直し等を行っていく。

(3)パブリックコメント

中間見直しについて広く市民の意見を求めるため、素案に関するパブリックコメントを実施する。

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
目次	-	有	<ul style="list-style-type: none"> ポツ点を削除 第1章に「計画改訂の基本的な考え」を追加 第2章「本市の環境の現状と課題及び今後の方向性」を削除 巻末資料の題名修正 巻末資料の「諮問・答申」、「第3次熊本市環境総合計画への市民提言」、「市民検討会議設置要綱」、「市民検討会議委員名簿」を削除 	環境政策課
第1章 計画の基本的な考え方	1~12			
仕切	1	有	<ul style="list-style-type: none"> 段落追加 2 計画改訂の目的と位置づけ 3 計画改訂の基本的な考え 	環境政策課
1. 環境行政の歩みと今日の課題	2	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 「PM2.5」を追加 「生物多様性地域戦略（仮称）」の説明を追加 	環境政策課 環境共生課
2. 計画策定改訂の目的と位置づけ	3,4	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 策定時の文章を削除し、改訂に合わせた文章に変更 	環境政策課
3. 計画改訂の基本的な考え（新規挿入）	4	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言追加 ○関係法令や関連計画の制定、改訂 ○新たな環境問題への対応 ○先進的な環境問題に対する取り組み ○成果指標、参考指標の実績等による見直し 	環境政策課
計画の位置づけ（体系図）	5	有	<ul style="list-style-type: none"> 個別計画の年度修正 個別計画に「生物多様性地域戦略（仮称）」を追加 <p>★計画の位置づけ（体系図）にある第6次熊本市総合計画については、第7次熊本市総合計画（新総合計画）の策定状況を見て変更する必要があります。</p>	環境政策課 温暖化対策室 環境共生課 水保全課 政策企画課
3. 計画の範囲	6	無		環境政策課
4. 計画の期間	6	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 	環境政策課
5. 本市の概況	7~12			
前文	7	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 九州新幹線等の文章を追加（政策企画課指摘事項） 菊池川水系を削除（都市政策研究所指摘事項） 	環境政策課 水保全課 政策企画課
①人口	7,8	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 人口、世帯数、人口密度を平成26年度版に修正 グラフを最新データに差替 <p>★人口ビジョンの策定により、使用するデータが異なる予定であるため、平成32年度（2020年）及び37年度（2025年）については未定扱い（政策企画課から依頼）</p>	環境政策課 政策企画課 区政推進課 統計課 都市政策研究所
項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

②位置・面積・地形	9	無		環境政策課
③気象	10	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 最新の平均気温等に修正 ・グラフを差替 「各都市の月毎の平均最高気温と平均最低気温の比較」を「熊本市の年平均気温偏差の経年変化」データに差替（財政課指摘事項） 	環境政策課 温暖化対策室
④産業と就業者数について	11	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 ポチ点のおかしい箇所を修正（産業政策課指摘事項） ・グラフを最新データに差替 	環境政策課 産業政策課 統計課
⑤土地利用について	11,12	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 最新の値に修正 ・グラフを最新データに差替 	環境政策課 都市政策課 課税管理課 統計課
各宣言 「環境保全都市宣言」「森の都」都市宣言に関する決議 「地下水保全都市宣言に関する決議」	13	無		環境政策課 環境共生課 水保全課
第2章 本市の環境の現状と課題及び今後の方向性	13~28	有	第2章を全削除 ※計画策定時に使用した資料であるため	環境政策課
仕切	13			
1. 第2次環境総合計画体系図	14			
2. 環境目標ごとの現状と課題及び今後の方向性	15~28			
①恵み豊かなくまもとの水をまもる	15,16			
②自然豊かな「森の都」を育てる	17,18			
③歴史遺産等を生かした美しい景観をつくる	19			
④さわやかで安心できる生活環境をつくる	20,21			
⑤ごみを減らし、資源循環のまちをつくる	22			
⑥地球環境問題に地域から貢献する	23,24			
⑦自発的に実践する人を育てる	25,26			
⑧活動の「輪」を広げ、「協働」の取組を進める	27			
⑨環境に配慮した都市をつくる	28			
第3章 計画の基本理念	29~44			
仕切	29	有	・章をずらす（第3章→第2章）	環境政策課
1. 計画の目指す都市像	30~32	有	★第7次熊本市総合計画（新総合計画）の策定状況を踏まえて変更予定	環境政策課 政策企画課
2. 基本理念 ～進むべき方向	33~43			
前文	33	有	・文言修正	環境政策課
基本理念1 「豊かな自然と文化の保全の活用」	34,35	有	・文言修正	環境政策課 環境共生課 水保全課 文化振興課
項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

基本理念2 「環境の変化への対応と適応」	36,37	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 PM2.5を挿入 ・グラフを差替 「コメ収穫の変化推計結果」 「地球温暖化によるウンシュウミカン栽培に適する年平均気温（15～18℃）の分布の移動」 を 「2100年末における真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数予測（H27年度現在）」 「日本における熱中症による年間死者数の推移」 のデータに差替 	環境政策課 温暖化対策室
基本理念3 「環境負荷の少ない社会の変化に応じた都市づくり」	38,39	無		環境政策課 都市政策課 交通政策総室
基本理念4 「環境と経済・社会の調和」	40,41	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 	環境政策課 温暖化対策室 産業政策課 商工振興課 農業政策課
基本理念5 「環境文化都市を推進するひとづくり・まちづくり」	42,43	有	<ul style="list-style-type: none"> ・写真（環境フェア、出前講座）を直近年度のものに差替 	環境政策課 温暖化対策室 市民協働課
3. 計画の環境目標（基本計画）と重点協働プロジェクト	44	無		環境政策課
第43章 基本計画	45～112	有	<p>第3章全項目共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境目標 仕切部分 目標→「環境目標」 ・中目標 あたまたに「中目標」の文言追加 ・小目標 取り組み →「小目標」に変更 	
仕切	45	有	<ul style="list-style-type: none"> ・章をずらす（第4章→第3章） 	環境政策課
1. 基本計画体系	46,47	無		環境政策課
2. 基本計画 ※成果指標（良好な環境が守られていると感じる市民割合）	48	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 成果指標については、現在6総の成果指標から引用しているが、今後は未定であるため、文言を削除している。 ・成果指標を差替 「基準値」の追加 	環境政策課 政策企画課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
環境目標1 豊かな水と緑をまもり生きものを育む都市をつくる	49~63			
仕切	49	有	・文言修正	環境政策課
1-1 恵み豊かなくまもとの地下水をまもる ※成果指標（地下水が市民の共有財産として守られていると感じている市民割合）	50,51	有	・文言修正 熊本市地下水保全条例の改正年度の変更（公財）くまもと地下水財団との連携について追記 実施計画の修正 ・成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更	環境政策課 水保全課
1-1-1 豊かな地下水をまもる ※参考指標（地下水人工かん養量、地下水採取量、市民1人1日あたりの生活用水使用量）	52,53	有	・文言修正 新たな地下水かん養対策検討を追記 ・参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 「目標年・目標値」の変更 (第2次熊本市地下水プラン改訂)	環境政策課 水保全課
1-1-2 清らかな地下水をまもる ※参考指標（地下水の硝酸性窒素の環境基準超過井戸の割合）	54,55	有	・文言修正 土壌汚染の部分を追記 くまもとグリーン農業を追記 家畜排せつ物処理施設の整備を追記 ・参考指標を差替 「参考指標」の標題を変更 硝酸性窒素濃度 →地下水の硝酸性窒素の環境基準超過井戸の割合 に変更 「基準値」の追加、変更 「現況値」の変更 ★地下水質（硝酸性窒素濃度）問題への対応については、環境審議会からも意見有り	環境政策課 水保全課
1-1-3 広域的な連携を進め情報を発信する	55,56	有	・文言修正 市の広域的な連携の役割を追加	水保全課
1-2 自然豊かな「森の都」をまもり、育てる ※成果指標（街なかに緑が多いと感じる市民割合）	56,57	有	・文言修正 ・成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更	環境政策課 環境共生課
1-2-1 緑をまもる	58	有	・文言修正	環境共生課
1-2-2 新たな緑をつくる	59	有	・文言修正 「熊本市緑の基本計画」の改定部分を削除	環境共生課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
1-3 人と生きもののつながりについて学び、まもる ※成果指標（生物多様性について知っている市民割合）	60,61	有	<ul style="list-style-type: none"> 体系図の修正 生物多様性国家戦略2010に基づき実施 →熊本市生物多様性地域戦略（仮称）に基づき実施 成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 環境共生課
1-3-1 自然とのふれあいを進める	62	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 「取り組み」→「小目標」に修正 生物多様性地域戦略について策定状況に合わせた見直し ★「江津湖地域における特定外来生物等による生態系等に係る被害の防止に関する条例」に関する記載をすべきではないか（財政課意見） →他の条例列挙との整合性から1つだけ個別条例は入れ 	環境共生課
1-3-2 生きものを育む自然環境をまもる	63	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 緑地の保全 →緑地の保全・創出 	環境共生課
環境目標2 くまもとの風土を活かした都市をつくる				
仕切	64	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 	環境政策課
2-1 歴史文化をまもり、育てる ※成果指標（過去1年間に歴史的文化遺産に触れた市民割合）	65,66	有	<ul style="list-style-type: none"> 体系図の修正 保存管理計画の追加 成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 文化振興課
2-1-1 歴史的文化遺産等を保護し、継承する ※参考指標（熊本城復元整備基金への募金額、指定文化財件数）	67,68	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 無形文化財 → 無形・無形民俗文化財 参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 文化振興課 熊本城総合事務所
2-1-2 環境資源等を活かした産業を育てる ※参考指標（熊本城入園者数）	68,69	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 「環境保全型農業」のキーワードを追加 参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 観光振興課 農商工連携推進課 熊本城総合事務所
2-2 魅力ある都市空間をつくる ※成果指標（街並みが美しいと感じる市民割合 良好な居住環境が保たれていると感じる市民割合）	70,71	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 緑化の推進を削除 成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 都市政策課
2-2-1 自然や歴史を活かした都市景観をつくる	72	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 	開発景観課
2-2-2 市民の憩いの場となる公園を整備する	73	有	<ul style="list-style-type: none"> 文言修正 	公園課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
2-2-3 安全で快適な道路環境を確保する	74	有	・文言修正 多数の修正あり	道路整備課
2-2-4 事前配慮の仕組みをつくる	75	有	・文言修正	環境政策課 建築指導課 開発景観課
環境目標3 環境負荷を抑えた循環型社会をつくる	76~80			
仕切	76	有	・文言修正	環境政策課
3-1 ごみを減らし、資源循環のまちをつくる ※成果指標（市民1人が1日に出すごみの量、 家庭ごみのリサイクル率）	77,78	有	・成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更	環境政策課 廃棄物計画課
3-1-1 ごみの減量とリサイクルを推進する	79	有	・文言修正 再利用 → 再使用	廃棄物計画課 ごみ減量推進課
3-1-2 適正なごみ処理を実施する ※参考指標（年間のごみ埋立処分量）	80	有	・文言追加 「水銀フリー社会」について追記 「特定品目」の収集について追記 ★「水銀フリー社会」については、環境審議会委員（県環境局長）からも意見有り ・参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 「目標値」の変更（熊本市一般廃棄物（ごみ）処理基本警戒の改訂に伴う）	環境政策課 廃棄物計画課 ごみ減量推進課
環境目標4 地球温暖化を防ぐため低炭素社会をつくる	81~90			
仕切	81	有	・文言修正	環境政策課
4-1 地域から地球温暖化の防止に貢献する ※成果指標（温室効果ガス削減量）	82,83	有	・文言修正 ・体系図の見直し 熊本市低炭素都市づくり戦略計画に合わせる形 ・成果指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 「目標値」の変更 （熊本市低炭素都市づくり戦略計画改訂） ★CO2排出量増大や、再生可能エネルギーへの転換 ★国のエネルギー政策の動向や経済情勢	環境政策課 温暖化対策室

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
4-1-1 省エネルギー・創エネルギーを推進する	84~86	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正、追加 高効率機器、HEMS、蓄電池等によるスマート化 ★水素社会について追記 	環境政策課 温暖化対策室 環境共生課 水保全課 管財課 農商工連携推進課
4-1-2 環境にやさしい交通を推進する ※参考指標（公共交通機関利用者数）	86,87	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 レンタサイクル部分の削除 電気自動車に加え燃料電池自動車を追加 	環境政策課 温暖化対策室 都市政策課 交通政策総室 自転車対策室
4-1-3 低炭素型ライフスタイルを実践する ※参考指標（市民一世帯あたりのCO2排出量）	88,89	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 省エネ行動等を追加 カーボンオフセット → Jクレジット ・参考指標を新たな指標へ マイバッグ持参率 →市民一世帯あたりのCO2排出量 ★マイバッグ持参率の参考指標については環境審議会から意見有り 	環境政策課 温暖化対策室 企業立地推進室
4-1-4 資源を有効に活用する	90	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 	廃棄物計画課 ごみ減量推進課 計画調整課
環境目標5 市民が快適に過ごせる生活空間をつくる				
仕切	91	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 	環境政策課
5-1 心地よい生活空間をつくり、安全・安心な暮らしをまもる ※成果指標（事業場苦情発生数及び基準違反数）	92,93	有	<ul style="list-style-type: none"> ・文言修正 ・成果指標を新たな指標へ 大気環境基準達成率 →事業場公害苦情発生数（大気、騒音、振動、悪臭）※ 立入調査による基準違反数含む） →水質汚濁事故発生件数及び排水基準違反件数 	環境政策課 水保全課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
5-1-1 さわやかな大気をまもる ※参考指標（大気環境基準達成率、二酸化窒素濃度、微小粒子状物質（PM2.5）の大気環境基準達成率）	94,95	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 道路関係の文章を修正 粉じんの重複部分を修正 常用漢字への修正 車輛 → 車両 • 5-1の成果指標であった「大気環境基準達成率」を参考指標として追加 • 参考指標「浮遊粒子状物質の大気環境基準達成率」→「微小粒子状物質（PM2.5）年平均值」に変更 • 参考指標「二酸化窒素濃度」を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 ★PM2.5への対応 ★浮遊粒子状物質の大気環境基準達成率については環境審議会から意見有り 	環境政策課 都市政策課 道路整備課
5-1-2 騒音・振動のないまちをつくる ※参考指標（自動車騒音環境基準達成率）	96,97	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 参考指標下の自動車騒音についての解説を削除 • 参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課
5-1-3 河川や海の水質をまもる	97,98	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 下水道整備事業部分 有害物質や油の適正処理について追記 	水保全課 浄化対策課 計画調整課
5-1-4 有害化学物質による汚染を防ぐ ※参考指標（大気中のダイオキシン類濃度）	98,99	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 	環境政策課 環境総合センター
5-1-5 安全・安心な暮らしをまもるため体制を整える	100,101	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 PM2.5の文言を追記 	環境政策課 危機管理防災総室 生活衛生課 食品保健課 感染症対策課
5-1-6 安全・安心な暮らしをまもるため調査研究し情報を発信する ※参考指標（測定計画検査数達成率）	101	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言修正 • 参考指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 環境総合センター
3. 重点協働プロジェクト	102~112			
前文	102	有	<ul style="list-style-type: none"> • 文言追加 (環境教育等促進法、ESDについて) 	環境政策課
ひとつづくりプロジェクト ～環境教育～ プロジェクトの背景・課題 目標 指標 プロジェクト構成図	103,104	有	<ul style="list-style-type: none"> • 指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更 	環境政策課 教育委員会事務局 その他関係課

第3次熊本市環境総合計画中間見直し 修正箇所一覧表

項目	ページ	改訂有無	改訂内容	担当課・関係課
☆取り組み1 新しい価値観の提案・啓発	104	無		環境政策課
☆取り組み2 ライフステージ別環境教育の推進	105	無		環境政策課 温暖化対策室
☆取り組み3 地域別環境教育の推進	105,106	有	・文言修正	環境政策課
☆取り組み4 環境保全活動のけん引役の育成	106	有	・文言追加 エコキッズリーダーについて追記	環境政策課
☆取り組み5 環境学習拠点の整備	107	有	・文言修正、追記 環境学習拠点の整備 → 提供 環境総合センターや各環境工場の機能充実 体験の機会の場の認定制度	環境政策課 環境総合センター 廃棄物計画課
まちづくりプロジェクト ～協働～ プロジェクトの背景・課題 目標 指標 プロジェクト構成図	108,109	有	・指標を差替 「基準値」の追加 「現況値」の変更	環境政策課 市民協働課 その他関係課
☆取り組み1 環境保全活動の支援	109	無		環境政策課
☆取り組み2 環境保全活動の促進	110	有	・文言追加 「協働取組の申出制度」「協定の届出制度」	環境政策課
☆取り組み3 情報交換・連携の場の形成	110,111	無		環境政策課
☆取り組み4 データバンクの作成	111	無		環境政策課
☆取り組み5 国内外における人材・情報交流の促進	112	有	・文言修正 東アジア経済交流推進機構について追加	環境政策課
第5章 推進体制	113~118			
仕切	113	有	・章をずらす（第5章→第4章）	環境政策課
1. 計画推進の基本的考え	114	無		環境政策課
2. 計画の推進体制	115,116	有	・文言修正（計画の推進母体の削除） ・推進体制図の修正	環境政策課
3. 計画の進行管理	117	有	・文言修正 年度の表現について修正	環境政策課
巻末資料	119~147			

※ページ数については、今後ずれる可能性があります。